

ハスとヤブカンゾウが見ごろを迎えています

あいな里山公園でハスの花とヤブカンゾウの花が咲き始めました。

7 月 12 日からは七十二候が“蓮始開（ハス始めて開く）”になり、お盆が終わる頃まで蓮田で淡いピンクの花をご覧いただけます。花の終わった後のハス口（ジョウロ）も見れます。

ハスは花を愛でるだけでなく、ハスの葉を乾燥させてから炒ると野草茶になり、美容・ダイエット効果があるとわれ、世界三大美女の「楊貴妃」が愛飲していました。今後体験メニューでハスの葉茶づくりを行い、園内の古民家でもふるまいます。ハス口の中に出来る硬い実も食べられ、秋からはレンコン掘りイベントも予定しています。

ヤブカンゾウは7月下旬まで鮮やかな橙色の花を咲かせます。ヤブカンゾウの花は食べることが出来るので、一部の蕾は摘んで酢漬（ピクルス）にしています。おいしく漬かった頃に長屋門等でふるまう予定です。

蒸し暑い季節になりましたが、今の時期しか見ることのできない美しい里山の植物や元気に飛び回る昆虫たちを見にぜひ遊びにお越しください。



ハス（蓮）の花



ヤブカンゾウ（藪萱草）の花